



京都大学医学部附属病院群臨床研修プログラム

協力型研修病院一覽

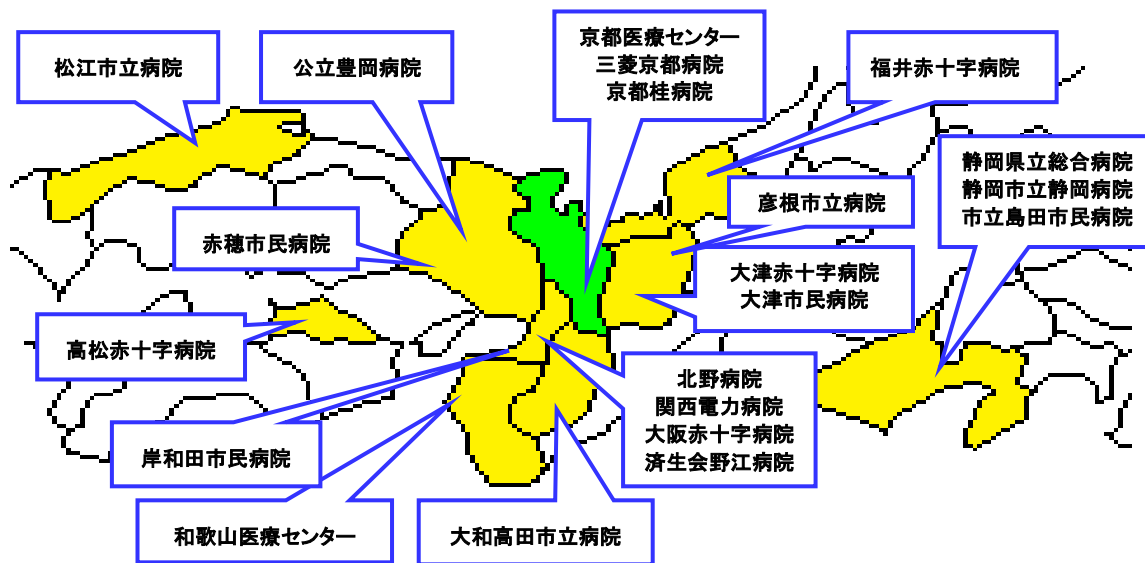


平成 23 年

京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター



京大病院プログラム 協力型研修病院地図



都道府県	病院名	紹介ページ
静岡県	静岡県立総合病院	4
	静岡市立静岡病院	6
	市立島田市民病院	8
福井県	福井赤十字病院	10
滋賀県	彦根市立病院	12
	大津赤十字病院	14
	大津市民病院	16
京都府	国立病院機構京都医療センター	18
	三菱京都病院	20
	京都桂病院	22
大阪府	財団法人田附興風会医学研究所北野病院	25
	大阪赤十字病院	27
	関西電力病院	29
	大阪府済生会野江病院	31
	市立岸和田市民病院	33
奈良県	大和高田市立病院	35
和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター	37
兵庫県	公立豊岡病院	39
	赤穂市民病院	41
島根県	松江市立病院	43
香川県	高松赤十字病院	45

※病院名をクリックすると紹介ページに飛びます。

なお、紹介ページの病院名は各ホームページへのリンクとなっています。

協力型研修病院で研修するプログラム

Bプログラム 募集予定者数 20 名

1 年目：京都大学病院、2 年目：協力型研修病院

	Bプログラム ローテーション内容			
1年目	内科 6月	外科 2月	救急部門 3月	麻酔科 1月
2年目	研修協力型病院			

〈Bプログラムを選択した研修医のコメント〉

- ・1年目に京大病院での研修を経験すると、採血等の手技、コメディカルの方々とのコミュニケーションの仕方などが身に付きますので、2年目以降はどここの病院でもやっていけるようになりますよ。
- ・京大は研修医が多いので、京都大学出身でない私は1年目に友人をたくさん作れると思ったので選択しました。
- ・学生時代、「1年目は大学病院で頭を使い、2年目は市中病院で身体を使え」と言われてきたのでBプログラムを選びました。しっかり指導してもらえるのも魅力的です。

Cプログラム 募集予定者数 27 名

1 年目：協力型研修病院、2 年目：京都大学病院

	Cプログラム ローテーション内容	
1年目	研修協力型病院	
2年目	地域医療 1月	選択科 11月

〈Cプログラムを選択した研修医のコメント〉

- ・2年目は京大に戻り行きたい科を回り、3年目そのまま入局することを考えているのでCプログラムを選びました。
- ・1年目が協力病院だと common disease を多く診ることができ、2年目は専門的な疾患を見ることができるので良いと思いました。

※各病院の受入枠はB, C合わせて2～4名で、選考試験の成績や希望を勘案し研修する病院を決定しますが、病院の事情により受入枠に変更が生じることがあります。
また京大病院での研修内容は当院研修センターホームページを、研修協力型病院での研修内容は次ページ以降をご覧ください。

静岡県立総合病院（静岡県）

病床数

720床（一般620床、結核100床）

病院の特徴

県内公的医療機関における中核的な病院として、各種疾患に対し総合的な診療はもとより、循環器系疾患及び悪性新生物、臓器移植に重点を置いた高度医療を行っています。2003年8月に地域がん診療拠点病院に指定され、2006年10月には静岡PETイメージングセンターを開設、2007年7月には地域医療支援病院の承認を受け、2008年8月には循環器病センターを開設し、各種政策医療とともに診療機能の向上に努めています。

医師数

170名（2010年4月1日現在）

初期研修医定員 1年次

単独型 19名（2009年実績）/たすきがけ 1名、自治医 2名（2009年実績）

” 2年次

単独型 20名（2009年実績）/たすきがけ 1名、自治医 2名（2009年実績）

処遇

- (1) 身分：地方独立行政法人静岡県立病院機構有期雇用職員
- (2) 手当：1年目 月額30万円程度（各種手当を含む、税込み）
賞与42万円程度（年間計、税込み）
2年目 月額32万円程度（各種手当を含む、税込み）
賞与60万円程度（年間計、税込み）
- (3) 勤務時間及び休暇：当院の規定による
- (4) 宿日直：当院の規定による
- (5) 宿舍の有無：有り
（ただし空室の状況によっては民間賃貸住宅の借上げる予定）
- (6) 社会保険の有無：有り（健康保険、厚生年金保険、雇用保険）
- (7) 健康管理：年1回の職員健康診断の受診
- (8) 医師賠償責任保険の適応の有無：有り

研修プログラムの特徴

静岡県立総合病院は基幹型臨床研修病院として機能し、静岡市内精神科4病院群（静岡県立こころの医療センター、宗美会清水駿府病院、清人会日本平病院、溝口病院）、共立湊病院（へき地診療）、静岡県立こども病院（小児専門病院）に協力型臨床病院として、また、恒仁会静岡瀬名病院、介護老人保健施設ケアセンター瀬名、静岡市保健所及び静岡市内の20の医療機関、診療所に、研修協力施設として参加してもらい臨床研修病院群を構成しています。

2年間の研修期間中は教育研修部に所属し、期間内に厚生労働省の案に沿って内科、救急部門及び地域医療を必修科目として、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科を選択必修科目として研修します。

指導医から学生さんへのメッセージ

当院では、「信頼し安心できる質の高い全人的医療」の理念の下、多くの患者様の診療にあたり、地域の基幹病院としての役割を担っています。また、当院におけるスタッフ、症例数の多さは、研修医の期待にこたえられるものであり、多くのことを学ぶことができると思います。情熱を持ち真剣に医療に取り組む若き研修医を歓迎します。

研修スケジュール(年間)

(例)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	総合診療科	内科選択			放射線	外科			救急	麻酔		
2年次	神経内科	呼吸器内科	地域	小児	循環器内科	精神	産婦	消化器内科				

静岡市立静岡病院（静岡県）

病床数

561床(一般555床、感染症6床)

病院の特徴

静岡市立静岡病院は、130 有余年の歴史を有し、地理的にも市の中心部に位置し、25 科、561 床を有する総合病院で、急性期医療を担う静岡市の中核病院である。歴史と実績の有る循環器科、心臓血管外科を中心に幅広く高度・専門医療を提供する一方、市医師会と協力し、オープンシステム、イーツーネット(二人主治医制)・オレンジカード(24時間緊急受診システム)、イエローカード(在宅療養患者緊急時受け入れシステム)など特徴ある病診連携システムを構築し、救急医療についても、政令指定都市の制定を見据え、新静岡市の救急体制の中で中心的な役割を果たし地域医療体制の充実に力を入れている。

医師数

117名(2007 年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 4名(2007 年実績)/たすきがけ 4名(2007 年実績)

〃 2年次

単独型 5名(200 年実績)/たすきがけ 6名(2007 年実績)

処遇

月額平均298, 600円(基本給+地域手当)、通勤手当、住居手当(医師住宅以外に居住の場合)、賞与(3ヶ月)あり 時間外勤務手当、当直手当、公的医療保険、公的年金保険労働者災害補償保険法適用、医師賠償責任保険有、雇用保険、医師住宅あり

研修プログラムの特徴

当院の臨床研修体制は、静岡市地区の豊富な医療資源を活用し、当院を管理型臨床研修病院とし、市内4精神病院、市医師会診療所、瀬名病院、国保井川診療所、静岡市保健所からなる臨床研修病院群で構成されています。臨床研修プログラムは、1年次、内科6ヶ月、外科3ヶ月、麻酔2ヶ月、救急1ヶ月、2年次、小児科2ヶ月、産婦人科2ヶ月、精神科1ヶ月、地域保健・医療1ヶ月、選択6ヶ月のスーパーローテート方式です。選択6ヶ月については、既習診療科の再履修を含め、専門7科について、3ヶ月単位で選択研修できます。救急については、特に力を入れ、1ヶ月の救急専従研修以外に、1年を通して毎月3回研修当直に当たります。指導体制は、経験豊富な指導医がたくさんおり、マンツーマンの指導を行っています。また、シミュレーションラボを設置し、基本的な手技の修得に利用しています。各診療科のローテート研修と平行し、毎週月曜日朝の全研修医のミーティング、毎週水曜日朝の研修医対象のミニセミナーを始め、救急セミナー、感染症セミナー、プライマリーケアセミナー、トリアージ・災害医療訓練、など、院内研修行事を取り込み、研修プログラムの内容の充実を図

っています。当院は、京都大学、浜松医科大学の協力型臨床研修病院でもあり、それぞれの大学からの研修医と交流することも有意義なことと考えます。静岡市は、新幹線を利用すれば、東京、名古屋 1 時間弱、京都2時間弱と交通がとても便利であることも意外と知られていないことなので強調しておきたいと思います。病院職員一同、熱い思いを胸に指導に燃えています。全国の医学生の皆さん静岡病院の臨床研修プログラムにチャレンジして下さい。(研修プログラム責任者 平田健雄 呼吸器科 京都大学 昭和 48 年卒)

指導医から学生さんへのメッセージ

本院の内科系臨床研修システムは3つにグループ化された専門科をローテートするものです。私の専門の血液内科は消化器内科とともに B グループを形成し、同一のフロアで2ヶ月間の研修が進行します。造血幹細胞移植などの専門的治療も実施していますが、1年次の研修医の皆さんにとっては、化学療法時の末梢血管確保、点滴回路のセット、注射薬剤混注などの初歩的手技の勉強になるほか、不明熱、リンパ節腫脹、各種貧血などプライマリーケアに役立つ症例を経験し、考え方を学ぶ場が提供されます。スタッフは専門科であると同時に総合マインドも持っていますので、診療科、年齢、職種の垣根を越えて病棟内では和やかに相談、助言、指導が行われています。内科認定医資格取得にも役立つ症例豊富です。静岡は東京にも近く交通至便です。皆様がた、ともに医学を学び良き医療を推進していきましょう。

研修スケジュール(年間)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修科目名	内科						外科			麻酔科	救急	
担当科名	選択科目						地域医療	精神	小児科	産婦人科		



ERでは、様々な疾患を経験し、分からないことがあれば、すぐに上級医や専門医にコンサルトできました。
内科が全科そろっており、研修医でも専門医にコンサルトし易かったですし、住居等、研修医が仕事をする環境が整っていました。

C プログラム 研修医

市立島田市民病院（静岡県）

病床数

536床

病院の特徴

地域基幹病院として、チーム医療を念頭に全科で高い質の医療・看護を目指しています。特に救急医療については、住民、行政、救命士との協力体制を作り上げ、迅速な救急医療を目指し、病院内に救急車・救命士常置、緊急時には若手医師が同乗するなど現場の救命活動に貢献しています。独立した救急センターは平成17年春からスタートし、内部にマルチCT、一般撮影装置を持ち、同一フロア内で診断、救急治療を可能としています。当院とNECで共同開発した電子カルテ「Mega Oak」がすでに稼働済みで、画像はフィルムレスです。都会にはない地域病院としての特徴は、壁のない各科の協力体制の下で豊富な疾患が経験でき、現場主義で鑑別診断能力、手術を含めた手技を身につけられることにあります。医師のスタートに選択する意義のある病院と自負しています。また、初期研修医専用の研修室があり、お互いの交流や切磋琢磨が可能です。※院内では研修医という呼称は使用せず、卒後1年目(2年目)医師と呼んでいます。

医師数

95名(2011年1月1日現在)

初期研修医定員 1年次

基幹型 7名(2010年実績)/たすきがけ 2名(2010年実績)

// 2年次

管理型 5名(2010年実績)/たすきがけ 1名(2010年実績)

処遇

身分：地方公務員(平成23年4月から)

給与：1年次・月334,000円、年4,400,000円 2年次・月406,000円、年5,600,000円

手当：図書費20万円/年、出張旅費20万円/年、BLS及びACLS受講費全額補助

宿日直手当等(35,000円/回ただし副直は10,000円/回)及び当直時の実労働時間外手当(副直時は除く)、剖検立合いの際は解剖手当を支給(4,000円/回)

保険：あり(静岡県市町村職員共済組合)、勤務医賠償責任保険(包括)

宿舎：あり

研修プログラムの特徴

①救急研修は期間限定ではなく、救急学会専門医の指導の下に内科系救急チームの一員として、更に外科救急を含み2年間継続して行う。ACLS取得をサポートし、その内容に沿った救急実技、蘇生手段、薬物使用を学べる。症候から入る診断や治療指針の系統的講義、実技を月1回行い、救急学会専門医の習得

が可能である。

- ②内科研修6ヶ月の間に、週各1回心エコー、腹部エコー研修を行い、救急で活用する。
- ③2年目選択研修時に、総合診療外来を研修する。
- ④総合診療科指導医が、各研修科の指導医とは別にローテート全期間をバックアップする。
- ⑤病理常勤医師の指導の下で病理研修ができる。(病理専門医認定施設)
- ⑥卒中科で内科外科両面から脳血管障害を研修できる。
- ⑦初期2年研修修了時点で、当院後期研修を優先的に選択できる。

指導医から学生さんへのメッセージ

思い出してください、医学部合格発表の日を。どのような医師になりたいと思い描いていましたか。困っている患者さんを救いたい、難治とされている病気を解明し治療法を見つけ出したい、ひたすら研究をしたいなど、さまざまな考えや理想をもって大学に入り、学んでこられましたね。

初期研修が義務化され、病院毎に研修プログラムが設定されて同じ内容を研修しますが、達成度や満足度は個人個人で差が生じます。その差はどこから生まれるのでしょうか。周りですぐにとけ込める人とそれが苦手な人、日々与えられたことを黙々とこなしている人、カンファレンスや学会で積極的に発言し、分からないことはその場で調べ、指導医にも質問しまくる人など、それぞれ個人差があるのは仕方がないことです。

大切なことは、「自分が何になりたいのか」を常に考え、節目に自己評価をしっかりと行うことです。今の自分には何が欠けているのか、それを補うにはどうしたらよいかを考えて研修してください。私たち指導医には、いつでも相談してください。いきなり「こうなさい」という指導ではなく、どう考えるか、どうしたらよいかを皆さんとの対話を通して、「自分の頭で考えることができる医師」に育つような研修を目標としています。

研修医は病院の宝です。指導医だけでなく看護師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、薬剤師、栄養士まですべての人たちが指導を通じて緊張感を保ち、病院全体が活性化します。毎年研修プログラムを整備し、研修医の希望も考慮しながらカリキュラムを改善しつづけています。

研修スケジュール(年間)

○ 研修スケジュール (一例です。履修順序は研修医により異なります。)

1年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科					外科			脳卒中科	救急科	麻酔科	
← 救急科					→						
2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児科		地域医療	選択必修科目			自由選択科目					
← 救急科 →		←			→ 救急科						

- 地域医療研修(必須): 本川根診療所、上長尾診療所、高木医院、朝比奈診療所
静岡県立こころの医療センター、清水駿府病院、榛原総合病院
- 地域保健研修(選択): 介護老人保健施設アポロン、静岡県中部健康福祉センター
- 2年次選択必修科目: 内科系は血液・リウマチ科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科から2科目
外科系は整形外科、脳神経外科、泌尿器科から1科目を選択する

福井赤十字病院（福井県）

病床数

616床

病院の特徴

平成16年3月に新本館が開院し、患者様に快適な療養環境を提供できるように個室数や外来・病室面積を大幅に拡充、電子カルテシステムや無菌病室などの新たな診療設備を導入した。また、屋上にヘリコプター用緊急離発着場を、中央ホールには災害時に患者様の収容スペースとして利用できるよう床暖房や医療ガス設備を整備し、災害拠点病院としての機能を強化した。診療科23科、病床数616床（一般586、結核26、感染症4）の県下における中核的病院として、地域の医療機関等との連携を強力に推進しつつ、救急医療・急性期医療を主軸とした総合的診療機能による病院医療を展開する。

医師数

常勤医師107名(2009年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

基幹型 3名(2009年実績)/たすきがけ 1名(2009年実績)

〃 2年次

基幹型 4名(2009年実績)/たすきがけ 1名(2009年実績)

処遇

【身分】 常勤嘱託医師

【研修手当】 1年目 310,000円(月額)、2年目 330,000円(月額)

【賞与】 基本額に対して職員に準ずる支給

【時間外手当】 なし

【当直手当】 1年目 1回 5,000円(17:00-24:00) 2年目 1回 10,000円(17:00-翌 8:00)

【通勤手当】 あり

【社宅】 あり(空室があれば入居可、月額 11,000円) 病院より徒歩 2分

【住居手当】 27,500円まで(社宅に入居しない場合)

【勤務時間】 8:30~17:00

【休暇】 土曜日、日曜日、祝日、日本赤十字社創立記念日(5月1日)、年末年始(12月29日~1月3日)、有休、忌引、結婚等

【医療保険】 政府管掌健康保険

【年金保険】 厚生年金、厚生年金基金

【医師賠償責任保険】 団体保険は病院で加入 個人保険の加入は任意

【その他】 慰安旅行有り、労災保険、雇用保険等

研修プログラムの特徴

当院の理念・基本方針を理解し、医学・医療の社会的ニーズを認識し、全人的な診療を行える医師になることを目指して、日常臨床で遭遇する病気や病態を中心に専門医療との連携を考えたプライマリ・ケアができる診療能力を身につける。

指導医から学生さんへのメッセージ

当院の初期臨床研修は、各診療科の指導医が少数精鋭主義で研修を指導する方針で行われます。研修医の皆さんは臨床経験をし、具体的な治療行為や技術を学びたい、その中でも特に救急診療を意識して研修したいと考えていることでしょう。救急外来には1～3次救急の数多くの患者さんが訪れます。診療時間外には、内科系および外科系当直医、ICU担当医(麻酔科)、脳卒中センター当直医が宿直しており、また各科の医師はon call体制を採って2～3次救急に備えています。また、MRIやCTなどの高度診断機器は24時間いつでも利用できる体制になっていますので、高度の専門救急医療を研修できる初期臨床研修にふさわしい病院です。

研修医の皆さんは、①救急医療における患者さんのトリアージ(鑑別診断と救急処置、専門医への引継ぎなど)、②入院患者さんを中心に、患者さんに「優しい」「安全な」医療を行うことを求められています。研修医は、指導医の下で副主治医として診療活動を行います。電子カルテシステムではメディカルリスクの高い、輸血・抗がん剤の投与・手術等のオーダーを発行する場合は指導医によるダブルチェックを受ける体制になっており、患者さんに安心感を与えながら臨床医学の研鑽を積むことができます。

最後に、病院の基本理念や基本方針を理解し、全人的な医療を実践する意識とプロ意識を持つ、熱意ある研修医の皆さんが集まってくれる事を期待しています。

研修スケジュール(年間)

福井赤十字病院卒後臨床研修プログラム 変更案

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急 3ヶ月			内科 6ヶ月						外科3ヶ月		
2年次	地域医療	小児科	選択科 9.5ヶ月								地域保健	

※外科、小児科、地域保健は当院推奨とする。

研修医からのコメント



研修医を大切に扱ってくれます。先生方もコメディカルの方達も優しいです。居心地はよいですが、積極性が必要だと思います。がんばってください。

彦根市立病院（滋賀県）

病床数

470床

病院の特徴

1. 湖東保健医療圏の総合的医療センターとして高度な医療を提供する。
2. 安全性、信頼性の高い良質な医療を提供する。
3. 患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を提供する。
4. 公立病院として保健・医療・福祉機関との連携をはかる。
5. 教育・研修機能をもつ地域に開かれた病院をめざす。

医師数

61名(2011年2月1日現在)

初期研修医定員 1年次

管理型 2名(2010年定員)/協力型 1名(2010年実績)

// 2年次

管理型 2名(2010年定員)/協力型 0名(2010年実績)

処遇

■研修手当

1年次基本手当 330,000円/月、2年次基本手当 360,000円/月 ※税込
時間外手当、休日手当なし

■賞与

1年次賞与 140,000円/年、2年次賞与 260,000円/年 ※税込

■勤務時間

8:30~17:15 時間外勤務 無

■休暇

有給休暇 1年次 10日、2年次 10日、夏期休暇 有、年末年始 有

■住居

宿舎 有 15,000円/月、駐車料金 2,500円/月
(2DK、バス・トイレ・TV・洗濯機・冷蔵庫・電子レンジ付き)

研修プログラムの特徴

医師として基本的な診療能力を身につけチーム医療を実践しながら患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を習得することを目的とする。患者のみならず、スタッフとのコミュニケーションを十分に図り、安全性、信頼性の高い良質な医療を行う基本姿勢を重視する。さらに、医師として常に医学知識技の習得に努めるよう心掛けることも重要である。

院内の各診療科のみならず、地域の精神科病院、診療所、保健所とも協力し、プライマリケアをはじめとした様々な基本診療能力を効率よく身につけられるように企画されている。

研修スケジュール(年間)

1年目

月	4～9月	10～12月	1～2月	3月
Aコース	内科(6診療科)	救急(麻酔科、ICU)	選択必修科目(小児科、産科、外科、麻酔科、精神科のうち2科)	希望選択科

2年目

月	4～3月
Aコース	希望選択科(将来進みたい科から選択)および地域医療(1ヵ月間)

研修医からのコメント



- ・とても自由で、研修医の待遇もよく、たくさんの優秀な先生方に
かわいがって頂きました。忙しさに追われすぎることが良い研修
ではないと思います。数をこなすのではなく、どれだけ1人の患
者さんをきちんと診るかが研修として最も重要なことだと思うし、
自分が健康でなければ良い研修はできないので、自分のペー
スで研修できた一年間はとても実り多いものでした。
- ・地方の中規模病院には少人数ならではの自由な雰囲気と素
晴らしい環境があるように思います。自分なりに病院について
情報を集めて(ホームページ、先輩など)、容易に有名どころに
流れずに自分にあった病院を見つけてください。

大津市民病院（滋賀県）

病床数

506 床

病院の特徴

昭和12年の開設以来、湖都大津を中心に県内公的医療機関の中核病院として、総合的な医療提供はもとより高度先進的医療を行っています。JR膳所駅より徒歩10分と便利な上、美しいびわ湖と比叡山を一望できる絶好の位置にあります。

平成 11 年の新病院の開設を契機に、公立病院としてはいち早く緩和ケア病棟、神経難病病棟、第一種感染症病棟を新設し、現在 27 診療科と 16 中央診療部門の構成で、急性期医療からガン・難病診療に至るまで地域医療支援病院としての役割を果たしています。平成 15 年からは救急医療システムを改めて「ER おおつ」として、24 時間 365 日救急診療を提供する体制を整備し、臨床研修の場としても活用しています。平成 22 年 8 月から最新鋭の「消化器内視鏡センター」をオープンし、併せて「脳卒中センター」の総合的診療体制の整備を行い、より安心・安全な医療提供に努めています。

医科・歯科臨床研修病院指定、ISO9001(品質マネジメントシステム)、災害拠点病院(地域災害医療センター)、地域医療支援病院、難病拠点病院、臓器提供病院、開放型病院、緩和ケア病棟、指定感染症病床(第1種2床、第2種6床)、滋賀県地域がん診療連携支援病院などの指定及び認定、各種学会から多数の教育施設認定を受けています。

医師数

133 名(常勤 107 名、非常勤 26 名)(2011 年 5 月 1 日現在)

初期研修医定員 1年次

基幹型 4 名(2011 年実績)/たすきがけ 2 名(2011 年実績)

〃 2年次

基幹型 4 名(2011 年実績)/たすきがけ 1 名(2011 年実績)

処遇

身分:研修医(大津市嘱託職員)

給与:1年次29万円(月額)、2年次32万円(月額)

通勤手当、副直手当(1回 1万円)を別途支給

賞与:年2回 1年次602,040円/年(2010年度実績)、2年次1,004,800円/年(2010年度実績)

保険:健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・病院賠償責任保険・勤務医賠償責任保険に加入

健康管理:年1回健康診断を実施

休暇:有給休暇、特別休暇あり

研修活動:学会参加費、旅費等を支給する(上限あり)

宿舎:院内宿舎あり(8名分)

研修プログラムの特徴

日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につけることが目的です。将来の進路にとらわれず初期治療、救急医療などの基本的な知識・技術を修得すると共に、患者の立場に立って思いやりと気配りのできる医師が目標です。

臨床研修は自己研鑽が基本です。知識や技能の修得はもちろんですが、人格の涵養に重点を置き、医師としての人格教育を基本に探究心と医の心をもち社会人としても尊敬される医師の養成を目指します。

研修には急性期医療のほかに感染症(1類、2類、結核)、神経難病、緩和医療、回復期リハビリテーション、さらに医療の質・安全管理室の活動を通じて医療安全や感染症管理も学びます。

指導医から学生さんへのメッセージ

少ない研修医を多くの指導医が丹念に指導し、育てる方針です。

消化器、循環器、脳・神経疾患及びER型救急部等は複数診療科の連携でフル稼働し、血液浄化部、感染症科などは特化部門です。

救急は北米型ERで5名の専任救急医が担当し、年間患者数は18,097人、救急車の搬入は2,870件です。院内に消防局の救急隊が常駐しています。剖検は2名の病理医により常時可です。

研修プログラムは毎年見直します。9月に、全研修医と指導医、プログラム責任者、臨床研修責任者等が宿泊研修(リフレッシュ研修)、より良い研修プログラム、研修環境などを話し合います。

初期臨床研修は、医師が生涯を通じてもっとも多くのことを学ぶ時期で、この期間に医師の基本ができます。常に患者に向かう姿勢、真摯に医療に取り組む態度、一生学び続ける習慣等、奥の深い臨床医学の第1歩を踏み出すにあたり、病院をあげて若い医師を支援します。

研修スケジュール(年間)

(例)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一年次	内科						麻酔科	精神科 産婦人科	救急	選択科目		
二年次	救急	地域医療	選択科目									

大津赤十字病院（滋賀県）

病床数

824 床

病院の特徴

当院は26診療科による一般診療、各科がん診療、がん化学療法、血液がんに対する無菌室療法並びに自己・同種造血幹細胞移植などの治療に積極的に取り組み、“地域がん診療連携拠点病院”としての役割を担うと共に救急医療についても、ICU・CCU を運用して救命救急センターを中心に日夜努力し、小児救急医療に対しては小児科医の常時当直体制を確立し大津市医師会と連携して大津地域小児急病診療室を設け拠点病院として対応しています。さらに、NICU・MFICU による総合周産期母子医療センターを開設し積極的に取り組んでおります。

また、地域医療支援病院として地域連携を重視し、医療機器の共同利用、地域医療従事者への研修など地域中核病院として急性期医療の充実を目指しています。

なお、基幹災害医療センターとして災害時用の医療品・資機材の医療救護セットを備蓄し、災害時には滋賀県の中心病院として機能をします。他府県の災害時には、当院よりD-MAT 隊や救護班を現地に派遣します。

・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・救命救急センター ・総合周産期母子医療センター
・基幹災害医療センター ・DPC 対象病院 ・電子カルテ運用施設

医師数

156 名(2008 年 4 月 1 日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 10 名(2008 年実績)/たすきがけ 2 名(2008 年実績)

” 2年次

単独型 8 名(2008 年実績)/たすきがけ 2 名(2008 年実績)

処遇

身分:研修医師(常勤嘱託医師・1年毎の契約更新方式)

給与:1年次30万円、2年次33万円

通勤手当、当直手当、時間外手当(所属長の命令によるもの)を別途支給

賞与:年2回各10万円

保険:健康保険・厚生年金・雇用保険・労働保険等に参加

宿舎:单身用あり

健康管理:年2回健康診断を実施

医師賠償責任保険:加入

学会出席等:年1回の学会出張を認めている。(出張旅費は院内規程に準ずる)

研修プログラムの特徴

当院のプログラムは、厚生労働省の基本指針に基づき、研修医が修得すべき目標を履修出来るようにプログラム・カリキュラムを組み、又、救命救急センターを運営している特性により、救急医療について重点をおいた研修を行い、プライマリ・ケアとしての救急、麻酔を重点的に十分研修が行えるように時間を確保している。更に、小児科にも重点を置いている。研修2年次に選択期間を設定し、目標修得の為弾力的な運営を行えるように各診療部との調整を行う。

研修医は2年間の臨床研修修了後に各診療科にて後期研修を受けることができ、専門医等の資格を取ることが可能である。

指導医から学生さんへのメッセージ

大津赤十字病院は滋賀県大津市(人口 33 万)の中心部に位置する中核病院です。外来患者数は1日 1,500 人、病床数 824 床、急性期を中心に地域が必要とするさまざまな方々のニーズに応えています。特に救急に関しては平成 19 年 3 月に新救命救急センターを開設し、第1次から第3次救急に対応し、救急受診者は 34,347 人(1日平均 94.1 人)救急車台数 5,892 台(1日平均 16 台)であり、症例数は多く多彩です。また、当院のプログラムは麻酔科と救急部を別々に3ヶ月ローテーションでき、それぞれ十分に研修が行えるようになっています。同じく小児科研修にも重点を置いております。

また「初めに病人ありき」であって、「初めに医師ありき」でもなければ「初めに医学ありき」でもないはずであり、社会人としての自覚をもって、責任ある行動がとれる人材を育てたいと思います。

研修スケジュール(年間)

(例) 研修医 1 年次【標準コース】【小児科・産婦人科コース】共通

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						外科			救急		

(例) 研修医 2 年次【標準コース】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	麻酔			選択		地域	選択	精神	産婦	小児		

(例) 研修医 2 年次【小児科・産婦人科コース】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児		地域	精神	産婦	選択(産婦人科or小児科)						

研修医からのコメント



- ・特に救急が充実していたので、有意義な実習ができました。救急部志望なら、ぜひ。
- ・次第に担当患者数も増え、自分でできる仕事が多くなって充実感を覚えると同時に忙しくなっていく一つの仕事が多くなるかもしれません。初心を忘れずに頑張ってください。

京都医療センター（京都府）

病床数

600床

病院の特徴

同院は、独立行政法人国立病院機構政策医療ネットワークの中で、内分泌・代謝性疾患の高度専門医療施設（準ナショナルセンター）、成育医療の基幹医療施設、がん・循環器・腎及び感覚器疾患の専門医療施設に指定され、その他、政策医療としてはエイズ治療・国際医療協力施設として位置づけされている。

また、高度で総合的な医療機能等を備えた施設（高度総合医療施設）にも指定されており、約4割をがん患者が占めている。さらに、SARS（重症急性呼吸器症候群）や鳥インフルエンザなどの多発する感染症対策として、SARS 講習会を実施したり、陰圧式の隔離外来を設置するなど、地方自治体とも連携しながら、地域医療の向上にも努力している。

政策医療の実施にあたっては、診療のみならず、臨床研究、教育研修、情報発信の機能と一体となった医療提供体制を整え、地域の医療機関との密接な協力のもとに、きめ細やかな医療を提供し、その使命を果たしている。

また 2011 年 1 月には新病棟がオープンしました。2 階に救命救急センター、3 階に特別室個室（30 床）、5階には京都府がん診療連携拠点病院のなかでは初めてとなる、緩和ケア病棟（全個室 20 床）があります。

医師数

182 名（2010 年 4 月 1 日現在）

初期研修医定員 1 年次

単独型 10 名（2010 年実績）/たすきがけ 2 名（2010 年実績）

// 2 年次

単独型 11 名（2010 年実績）/たすきがけ 2 名（2010 年実績）

処遇

身分：非常勤職員

給与：約 300,000 円 / 月 通勤手当、宿日直手当は別途支給

保険：各種保険あり

宿舎：あり

研修プログラムの特徴

- ・診療科がそろっており症例が豊富
- ・診療各科の垣根が低く、気軽にコンサルテーションがうけられる
- ・内科ローテーションでは総合診療のみならず、早期から内科系各科の専門医の指導がうけられる

- ・京都府下に3カ所しかない救命救急センターの一つを擁する
- ・京都府下でも最も分娩扱い数が多い病院の一つである
- ・EBMを重視し、クリニカスバルの導入に積極的である
- ・院内各所よりインターネット・LAN利用可能でUpToDate、CochraneLibraryも利用可能
- ・オーダーリングシステムが完備し、平成16年より完全電子ファイル化されている
- ・MSWの常駐する地域医療連絡室をもち、病診連携が密
- ・大学病院との臨床研究面での連携が密である

研修スケジュール

オリエンテーション約1週間(4月上旬)

必須： 16ヶ月

内科(6ヶ月)： 総合内科・血液内科(必修)、消化器科、循環器科、呼吸器科、
糖尿病・内分泌内科・腎臓内科、神経内科・脳神経センターの6群から3つを選び、各
2ヶ月、計6ヶ月まわる。
小児科(2ヶ月)、外科(2ヶ月)、産婦人科(1ヶ月)、麻酔科(2ヶ月)、
救命センター(2ヶ月)、地域医療(診療所・保健所・消防署3カ所合計1ヶ月、
もしくは離島1ヶ月)

選択： 8ヶ月： 精神科※(洛南病院)、皮膚科、整形外科、形成外科(2年次のみ)、脳神経外科、
心臓血管外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、外来精神科、
結核医療(南京都病院)、神経難病医療(宇多野病院)から選択(1~2か月ずつ、最大
8ヶ所) ※洛南病院における精神科研修を推奨しています

※ 研修紹介スケジュール 例

1年目

4,5月	6,7月	8,9月	10,11月	12,1月	2,3月
内科①	総合内科 血液内科	麻酔科	救命	外科	内科③

2年目

4,5月	6,7月	8,9月	10,11月	12,1月	2,3月
小児科	産・地域	選択①	選択/精神	選択③	選択④

指導医から学生さんへのメッセージ

救命救急センターと総合内科を擁し、京都大学医学部附属病院では診る機会の少ないcommon diseaseや様々な疾患の急性期を経験することができます。

当直では、1、2年次もERチームの一員として一次から三次救急まで担当します。その結果については、毎朝救命科と総合内科の合同カンファレンスでレビューします。

当直の回数は月5-6回になりますので、それを覚悟の上、選択して下さい。

三菱京都病院（京都府）

病床数

188 床

病院の特徴

本院は全科にわたり、急性期を中心とした同規模病院をはるかに上回る高度な医療を行っています。学会の認定施設となっており、常勤には専門医・指導医の資格を有しています。また、PET・放射線治療装置(リニアック)・心臓血管造影装置・アンギオ CT 装置・IST・MRI・RI など高度医療に必要な医療機器も完備しています。看護体制は、7:1 体制です。コメディカルスタッフも充実しており、初期研修医の働きやすい病院です。

医師数

55名(2009年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

たすきがけ 2名(2009年実績)

〃 2年次

たすきがけ 2名(2009年実績)

処遇

1年次 約300,000円/月 2年次 約350,000円/月 (諸手当含む)
年次休暇有(10日間)

研修プログラムの特徴

当院は、地域病院として急性期疾患を中心とした Common disease が多く、初期研修医がプライマリケアを基本に身に付ける場として適当です。各科の連携が密で、すぐに他科と相談・対応できる雰囲気にあります。

2006年に新病院が完成し、電子カルテが導入されました。

京大病院の協力型研修病院として、1年次は内科系・外科系 3ヶ月、基本的診療に必要な知識・技能・態度を習得することを目的とします。

2年次は当院での産科・小児科各1ヶ月、地域医療研修として京都南病院(1ヶ月)、精神科研修は府立洛南病院(1ヶ月)、残り8ヶ月は当院での希望科目となります。

指導医から学生さんへのメッセージ

研修医としてあわただしい日々が続きますが、医師として切磋琢磨できる環境を整えたいと思っています

研修スケジュール(年間)

平成 21 年度

一年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	消化器内科		外科 消化器外科		呼吸器内科		外科 心外・ 乳腺	循環器内科		麻酔科		
	麻酔科			循環器内科		消化器内科		呼吸器内科		外科 消化器外科	外科 心外・ 乳腺	

二年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	選択科 循環器内科		地域 医療	選択 科 一般 内科	小児 科	選択 科 小児 科	産婦 人科	選択科 腎臓内科		精神 科	選択科 呼吸器内科		
	選択科 呼吸器内科			地域 医療	選択 科 消化 器内 科	産婦 人科	小児 科	選択科 消化器内科		選択 科 循環 器内 科	精神 科	選択 科 循環 器内 科	

1 年次 : 内科 4 ヶ月、外科 3 ヶ月、循環器内科 2 ヶ月、麻酔科 3 ヶ月

2 年次 : 小児科 1 ヶ月、産婦人科 1 ヶ月、地域医療・精神科各 1 ヶ月・希望選択科 8 ヶ月

※ 上記の年間予定表は 21 年度(参照)のものであり、研修月は各年度ごとに年度末の研修委員会により調整・決定される

研修医からのコメント



関連病院での研修は充実していたし、自分よりずっと先輩の先生やコメディカルの人達ともコミュニケーションをとって研修できたのが良かったと思います。

京都桂病院（京都府）

病床数

585 床

病院の特徴

病院の理念にもとづき、地域の人々の健康と福祉を保障するため、専門的で倫理的な医療を行うとともに、所有する医療機能を地域の医療体系と連携し、効率的な医療サービスの成果をあげることに努力している。

職員は医療従事者としての研修に励み、提供できる医療水準の向上と後進の教育に努力している。医療における人間関係について理解を深めることを基本に、総合病院としての機能を充実させながら、各科の連携のもと患者中心の全人的な医療を行っている。

救急医療については 24 時間、迅速かつ適切な対応ができる機能の充実に力を入れている。

医師数

133 名(2011 年 1 月 1 日現在)

初期研修医定員 1年次

基幹型 9 名(2010 年実績)/たすきがけ 1 名(2010 年実績)

” 2年次

基幹型 9 名(2010 年実績)/たすきがけ 1 名(2010 年実績)

処遇

給与:年額1年次 4,200,000円(賞与込、手当込) 2年次 4,800,000(賞与込、手当込)

保険:あり(健康、厚生、雇用)

研修プログラムの特徴

適切な指導体制のもとに、すべての臨床医に必要な基本的知識と技能を実地に錬磨。多様な医療ニーズに対処しうる広くて高い実力を誇る臨床医を育成し、医学の進歩に対応して自ら診療能力を開発しうる基礎を養う。医療における人間関係、特に医師と患者との関係について理解を深め、医の倫理を体得し、医師としての資質の向上を図り、人格を涵養する研修を行い、医療システム全体の安全性と信頼を確保する意義の重要性を体得する。

- (1)各科の臨床研修の到達目標を定め、指導医による達成評価と研修医による自己評価及び指導医評価を総合的な評価によって、より適切な研修指導方法がそれぞれの研修医に対してとれるように配慮
- (2)内科は呼吸器科、消化器科、循環器科、一般内科を中心に全科を研修する
- (3)地域医療では、医療過疎地の有床診療所、医院の2カ所を2週間単位で自由に選択研修できる
- (4)選択科は 6 ヶ月間の設定

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

指導医から学生さんへのメッセージ

野々村光生(研修管理責任者)

[研修外業務]

救急医学会の ACLS 講習会の開催(年 2 回)や職員向けの BLS 講習会開催(月 2 回)、並びに職員向けの夏祭りの開催など、やりがいのあるイベントの企画運営を 20 人の研修医先生におまかせしています。

[研修環境]

毎週金曜日の午後 6 時 30 分から 8 時までは、病棟や指導医からのコールがなく、研修医全員が集まる時間を設定しています。彼らが現場で出会わず種々の問題を検討する研修医委員会や、院外や院内の講師を招いて行う勉強会等その運営は研修医にまかされています。また研修医には一人一つの机があり、自分の机や医局でもインターネットの使用が可能で、Up To Date へのアクセスも可能です。困った時の相談やカルテ出し・レポートの整理・文献検索等みなさんのお手伝いをしてくれる研修医専属の秘書さんが 2 人いるのも当院の特徴だと思います。

是非一度見学にお越し下さい。

研修スケジュール(年間)

[研修スケジュール(年間)]

<A(標準)コース>

1年目	6ヶ月		3ヶ月	3ヶ月
	内 科		外 科	救 急

2年目	2ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	6ヶ月	
	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選 択	

- ★ 内科とは、一般内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、神経内科、血液内科、内分泌・糖尿内科、腎臓内科をいいます。
- ★ 地域医療は、医院・診療所を2週間単位で自由に選択できます。
- ★ 精神科は、岩倉病院で研修を行いません。
- ★ 外科には整形外科2週間を含みます。
- ★ 選択科は下記から選びます。
 - 呼吸器センター(内科、外科)、○消化器センター(内科、外科)、○心臓血管センター(内科、外科)
 - 一般内科、○神経内科、○血液内科、○内分泌・糖尿内科、○膠原病・リウマチ科、○皮膚科
 - 産婦人科、○小児科、○眼科、○整形外科、○形成外科、○泌尿器科、○腎臓内科、○耳鼻咽喉科
 - 放射線科、○精神科、○麻酔科、○病理科、○リハビリテーション科、○地域保健
 - 脳神経外科についてはシミズ病院で研修が可能です。
- ★ ローテート順は各研修医により異なります。

研修医からのコメント



私は1年目京都桂病院で研修させていただきました。桂病院は1年目研修医9名(オリジナル)+1名で、コンパクトにまとまる程の人数だったので、全員でやっていく行事が多く、濃い人間関係を創ることができる病院だと思います。

桂病院では、望めばかなりの手技もさせてもらうことができ、研修内容も研修医の希望で変わっていく部分があるので、自分達の意思が反映される感じがあります。

田附興風会医学研究所北野病院(大阪府)

病床数

707床

病院の特徴

設立の趣旨に基づいた病院全体を臨床研究所とした臨床的研究のほか、基礎研究設備も充実しており、国際レベルの研究が伝統的に継続されている。

1985年には、特定公益増進法人の指定を受け、医学研究所では文部科学省科学研究費補助金(いわゆる科研費)を受給して、特に腫瘍学に関する活発な基礎的、臨床的研究が行われている。

京都大学や国内外の他施設との共同研究や人的交流も盛んであり、研究のレベルは非常に高い。新病院では放射線機器が充実され、MRIや血管造影装置の更新と共に、リニアック、ハイパーナイフが新設された。

医師数

200名(2007年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 12名(2007年実績)/たすきがけ 3名(2007年実績)

// 2年次

単独型 11名(2007年実績)/たすきがけ 3名(2007年実績)

処遇

【1年目】月例給与:240,000円+※当直手当:100,000円前後(月4~5回)

※6月より支給

夏季賞与:70,000円 年末賞与:200,000円 通勤手当別途支給(月額上限50,000円)

年収総額約410万円前後

【2年目】月例給与:280,000円 + 当直手当:100,000円前後(月4~5回)

夏季賞与:100,000円 年末賞与:250,000円 通勤手当別途支給(月額上限50,000円)

年収総額約460万円前後

研修プログラムの特徴

全ての医師に義務付けられることになった臨床研修必修化の理念は、「医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける」ということであるが、この理念に基づき、北野病院各科および研修協力病院、ならびに地域の診療所や福祉施設、保健所等との連携のもとに2年間のローテーションを行う研修プログラムである。

研修医から学生さんへのメッセージ

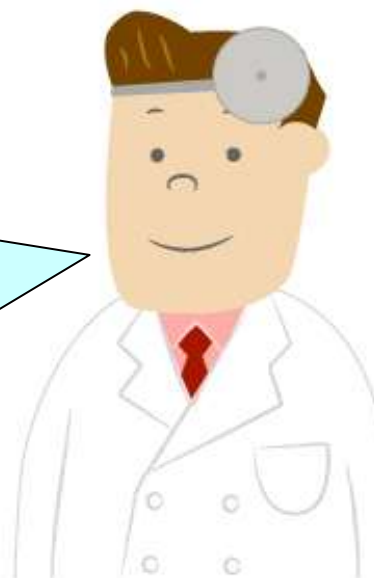
北野病院は大阪市の中心に位置し、近畿一円より患者様が集まり、我々研修医は common disease から専門性の高い疾患まで幅広い症例を数多く経験することができます。インターネットなどの環境もよく、最新の設備で充実した研修を行うことができます。横のつながりが良く、他科へのコンサルトは非常にしやすい環境です。研修医の人数は多く、毎日楽しく研修しています。新研修医制度が始まり、研修の環境は大きく変化する中、労働衛生、待遇、教育システムその他の面で改良がすすめられています。当直体制も平成16年秋より新しくなり、緻密な指導のもと安心して当直業務を行うことができます。

研修スケジュール(年間)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一年次	内科						外科			救急	麻酔科	
二年次	小児科	産婦人科	精神科	地域保健・医療	選択(胸外・脳外・整形・泌尿・放射・救急部・麻酔)							

研修医からのコメント

- ・北野病院は、研修医の教育に力を入れている病院でした。最も大事なのは、その病院で自分のために何を学ぶかだと感じています。常に今していることが、将来の自分のためにどう役に立つのかを考えながら、日々働くことが重要だったと反省します。
 - ・各診療科のレベルが高いと思うので、頑張れば色々なことが吸収できるのではないかと思います。忙しさもほどほどで、勉強する時間がないということもなくよかったですと思います。
 - ・学生気分を感じることなく働けるとと思います。
- 1年間楽しんでください。



大阪赤十字病院（大阪府）

病床数

952 床

病院の特徴

大阪赤十字病院では、「心のかような高度の医療」をコンセプトに、質の高い医療とサービスを目指し、最新の設備と機能を備えた診療体制を整えている。また、高度医療・急性期医療への対応としてICU、CCU、救急病床、人工透析、放射線治療(リニアック他)、小児専用病床及びNICU、手術室16室(日帰り手術・バイオクリーン対応等)を設置し、いつでも誰でも高度な医療が受けられる体制となっている。

外来診療部門は、受付から会計までの患者さまの流れを簡素化し、時間の短縮を図るための新システム「フルオーダーリングシステム」を導入し、自動再来受付機、自動精算機また検査部門には採血受付機を設置し、再診予約制の拡充や各診療科の受付を統合したブロック受付を導入するなど、患者さまをお待たせしない病院を目指している。

また、災害拠点病院として災害時用の医薬品・資機材の医療救護セットを備蓄し、屋上にはヘリコプター緊急離着場を設置している。平成 18 年 4 月から国際医療救援部を設置し、赤十字事業としての国際救援活動に職員を派遣している。

医師数

233 名(2010 年 4 月 1 日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 9 名(2010 年実績)/たすきがけ 2 名(2010 年実績)

” 2年次

単独型 10 名(2010 年実績)/たすきがけ 3 名(2010 年実績)

処遇

1. 身分:1 年ごとに契約更新する常勤嘱託
2. 研修手当:①給与 1 年次 35 万円(諸手当込)、2 年次 37 万円(諸手当込) ②賞与 年 2 回各 10 万円
3. 勤務時間および休日:職員に準じる
4. 休暇:嘱託・臨時職員及びパートタイマー就業規則に準じる
5. 宿直:平均月 4~5 回
6. 時間外勤務:時間外手当は給与に含まれる
7. 宿舎及び病院内の個室の有無:有り(空室がある場合)。通勤・住宅手当は規定内で支給する
8. 社会保険・労働保険:加入
9. 健康管理:年 1 回健康診断を実施

10. 医師賠償責任保険:加入

11. 外部の研修発表に関する事項:2年次のみ年1回を限度として院長が認めた全国学会で演題発表者に、3万円を上限として旅費を支給する。

研修プログラムの特徴

当院における研修プログラムの目的は、すべての研修医が、医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身に付けることである。プライマリ・ケアをはじめとした様々な診療に携わり、臨床の最前線の間での最新の治療や、EBMに基づいた診療の実際を経験することが出来る。臨床研修に必要なすべての研修を本院内で行うことができ、研修管理委員会が中心となってプログラムを管理・運営するため、すべての研修医に対して公平で一貫した臨床研修を提供できる。研修医は、2年間の臨床研修修了後、各診療科の専門医(後期研修医)研修プログラムに応募し、卒後臨床研修から継続して専攻医研修を受けることができる。

指導医から学生さんへのメッセージ

大阪市内にある当院は、多くの患者さまの診療にあたり、地域を代表する急性期病院としての役割を担っており、当院が有する症例の多さは、研修医の期待に応えられるものと確信しています。当院では、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付け、医師として求められる姿勢や人間性の向上を目指していただきます。そのために、注意深く問題点を見抜き、自ら積極的に学ぶ姿勢が必要です。学生の皆さんには、日ごろから医学的知識を高め、常に課題に関心を持ち、社会人としての素養を培ってほしいと思います。

研修スケジュール(年間)

1年目

内科 6月	救急 2月	麻酔科 2月	外科+外科系* 1月 1月
----------	----------	-----------	------------------

外科系*: 外科系診療科より選択

2年目

小児科 2月	産婦人科 2月	精神 1月	地域* 1月	選択科 6月
-----------	------------	----------	-----------	-----------

地域医療*: 協力病院、診療所

研修医からのコメント



救急当直は全く寝られない日も多々ありましたが、2年間の研修で最も自分の力になったと思います。上級医の先生や同期の研修医に皆面白い人ばかりで楽しく研修できました。

関西電力病院（大阪府）

病床数

400 床

病院の特徴

関西電力病院の理念

- ◇安全で患者さま中心の病院をめざします。
- ◇地域医療との連携を推進し、開かれた医療を行います。
- ◇責任と誇りを持って、医療の向上に努めます。

医師数

101名(2010年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 8名(2010年実績)/たすきがけ 3名(2010年実績) 計11名

〃 2年次

単独型 8名(2010年実績)/たすきがけ 2名(2010年実績) 計10名

処遇

給与:給与:月例300,000円 年収5,000,000円程度(賞与、諸手当込み)

通勤費:全額実費支給

勤務時間:8:30~17:10(休憩 1時間)、但し土曜日は8:30~12:00

休日:日曜日、隔週土曜日、祝日、労働祭(5/1)、年末年始(12/29~1/3)、指定休日1日/月

休暇:勤続1年未満 5日~15日、1年以上 20日、他に特別休暇あり(夏期、結婚、忌服等)

保険:社会保健:健康、厚生年金、雇用、労災、介護保険加入

預金制度:持家財形貯蓄制度

福利厚生:福利厚生代行サービス会社及びカフェテリアプランの利用ができます

宿舎:寮・社宅:あり 関西電力社内基準を満たせば入居可能

研修プログラムの特徴

関西電力株式会社が社員の福利厚生ならびに地域における医療の拠点として昭和 28 年に開設した、22 の診療科より構成されるベッド数 400 の総合病院である。平成 16 年度より全ての医師に義務づけられた卒後臨床研修必須化に対処すべく、日常診療で遭遇するさまざまな疾患・病態に対処できるような診療能力を身につけられる研修システムを構築している。各科ローテートだけでなく、レジデント部が中心となって臨床講義を数多く開催するなど、研修医に必要な基本的診療能力の習得を支援している。2 年間の研修終了後、後期研修への応募が可能である。

研修スケジュール(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(6ヶ月)						救急部門(3ヶ月)			選択必修	選択必修	選択
2年次	地域医療	選択科目(11ヶ月)										

選択必修は2年次に選択も可能

研修医からのコメント



関電病院は、約400床の中規模病院です。医局が1カ所に集中しており、各診療科の先生と毎日顔を合わせることができ、コンサルトがしやすい環境にあります。また、院長直下の組織としてレジデント部があり、週1回の研修会、週2回のカンファレンスを実施されるなど、非常に勉強になります。医師とコメディカル、看護師の仲も良く、仕事をする環境はとても良いです。非常に充実した1年間を送ることができました。

大阪府済生会野江病院（大阪府）

病床数

382 床

病院の特徴

本院は平成 23 年 5 月 1 日に新病院移転を行う。大阪市東部に位置し、城東区、鶴見区、旭区の約 36 万人の住民のための唯一の公的急性期病院として機能しており、市民病院的存在である。更なる地域密着医療を展開するため、専任救急医を招聘し、放射線治療も開始する。また、SCUも新設及びICUの増床を行い、更なる医療の質向上を行う。診療科数は 27 科、病床数 382 床で、医師数 126 人（含：非常勤医師）、職員数約 760 人（含：看護師 375 人）である。地域のかかりつけ医との連携は強く、多くの紹介患者を診療している。

外来・紹介・入院とわず患者数は多いため、プライマリケアを重視した研修を行うには豊富な症例がある。

医師数

82 名(2010 年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

管理型 5 名(2010 年実績)/たすきがけ 1 名(2010 年実績)

// 2年次

管理型 3 名(2010 年実績)/たすきがけ 1 名(2010 年実績)

処遇

身分：常勤職員(2年間の研修期間)

給与：1年次 3,360,000 円/年・2年次 3,960,000 円/年(税・保険料込)

住宅手当：単身者 20,000 円支給

通勤手当：1km 以上は全額支給

保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

宿舎：ワンルームマンション有り(但し、家賃の一部自己負担あり)

研修プログラムの特徴

内科はあらゆる臨床医学の根幹をなすものであり、将来選択する診療科にかかわらず患者の全体像を把握するために医師として必須の習得事項である。同院の内科研修プログラムは厚生労働省の経験目標の基準を可及的に充足しつつ、患者サイドに立った医療への取り組み方を学ぶべく設定されている。「すぐれた技量を持ち、患者に優しい医師となるための一般的知識・技術・接遇の基本を習得する」ことを目標とする。

また、外科研修では基本的知識、手技の習得を目標とし、外科手術の基礎の理解を第一とする。外科手術は直接人体に侵襲を与え、患者にある程度の苦痛や危険性をともなうため、医師・患者間に十分な信頼関係を醸成しなければならない。

必須科目は内科系 6 ヶ月、救急 3 ヶ月、外科系 2 ヶ月、地域医療 1 ヶ月、精神科 1 ヶ月であり、選択必須科目は、小児科・産婦人科・麻酔科・精神科・外科から 2 科目・各 1 ヶ月を選択して研修する。

なお、2年次の選択研修は血液免疫内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、放射線診断科の中から研修医の希望に沿って選択できる。

指導医から学生さんへのメッセージ

指導医・副院長兼内科部長／杉山 裕之

当院内科は、主に血液・免疫系、代謝・内分泌系疾患を担当する科ですが、感染症や不明熱、原発不明悪性疾患などを受け入れる総合内科としての役割も担っています。そんな中、研修医は多彩な疾患の入院患者を受け持ち、基本的な病歴の取り方、診察法、各種穿刺法などを含む臨床検査、輸血や感染症対策などの基本的治療方法を習得します。POSカルテの記載法も指導します。研修中は、受け持ち症例の喀痰などのグラム染色を細菌検査室で行い、原因菌の推定も習得していただけますし、種々の器官系の異常についての識別判断のために他の専門各科と連携しながら内科全般を学べます。さらに、当科の専門領域である糖尿病など生活習慣が関係する病態での合併症の診断、運動・食事療法や、造血器悪性疾患の科学療法を行いつつ、その効果・副作用などの理解を深めてもらうほか、終末期医療も学んでもらいます。

研修スケジュール(年間)

研修スケジュール(例)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(必須)						救急(必須)			外科(必須)		小児 (選択 必須)
2年次	地域 (必須)	麻酔 (選択 必須)	精神 (必須)	選択科目								
【備考】	(必須)1年目:内科6ヶ月、外科2ヶ月、救急3ヶ月 2年目:地域医療1ヶ月、精神科1ヶ月 (選択必須)麻酔科、精神科、小児科、産婦人科、外科の中から2科目選択(各1ヶ月計2ヶ月)											

研修医からのコメント



関連病院では大学と全く違ったいい面・悪い面がありますが、小規模でアットホームなところ、コメディカルの距離が近いところなどを利用して、積極的に頑張りたいと思います。

野江病院では、想像していたほどの忙しい生活ではありませんでしたが、その分一つ一つの症例をじっくり見るという経験ができました。外科医を目指す人にはおススメの病院です。

市立岸和田市民病院（大阪府）

病床数

400床

病院の特徴

大阪府南部の泉州医療圏の最大基幹病院として、急性期に特化した高度専門医療と救急医療を診療の柱として運営している。23の診療科を有して総合的な診療機能を堅持し、質の高い先進医療の実践を目指している。ICU/CCU、救急病棟、放射線治療、PET/CT、化学療法センターなどの設備があり、心臓手術、造血移植療法等も行っている。また、救急診療科を中心に全科を挙げて、365日24時間ER型の救急医療を展開している。1993年に臨床研修病院に認定され、1998年には日本医療機能評価機構による高評価の認定を受けた。2002年には、地域がん診療連携拠点病院に指定され、名実ともに地域医療の中核病院となった。

医師数

103名(2011年2月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 5名(2010年実績)/たすきがけ 2名(2010年実績)

” 2年次

単独型 4名(2010年実績)/たすきがけ 1名(2010年実績)

処遇

身分:嘱託医(研修医)

給与:年額 1年次:3,840,000円 2年次:4,416,000円

保険:社会保険・労働保険:あり

宿舎:あり(民間マンション 借り上げ、宿舎費20,000円と光熱費は個人負担)

研修プログラムの特徴

医師としての基本的姿勢、倫理、使命感、人類愛を養成するとともに、すべての臨床医に求められる基本的医学知識と技術を修得することが目的。研修環境としての特徴は、豊富な急性期の症例数、救急医療の充実、大病院に比肩する医療設備、検査設備、充実した教育設備にある。臨床のすべての専門科を備え、地域の最終的な総合病院としての使命も果たしている。研修医の定員を少なくすることにより密度の濃い指導をめざし、選択科目としてほとんどの臨床科の選択が可能で、研修医の多様な希望に応える。中規模病院の特徴を生かして、各診療科間の円滑な連携のもとにチーム医療を実践できる。

指導医から学生さんへのメッセージ

研修責任者・循環器内科専門医・部長(京大卒)／松田 光雄氏

当院では、医師研修制度において目標となっている「プライマリ・ケアの幅広い修得と参加型の研修」を達成するために次のことを実施している。(1)中規模病院であるので、研修充実のため1科に研修医ひとりがまわる少数型を導入し、8名を年次総定員とする、(2)救急医療を重要視するため、救急診療科で1年次2ヶ月、2年次1ヶ月研修する以外にも、全研修期間を通じて救急当直に参加する、(3)プログラムの内容でも、前述の目標に沿うように内科6ヶ月、救急2ヶ月、麻酔科1ヶ月、外科6週間、脳神経外科2週間を必修とし、研修医の希望により小児科または整形外科を1ヶ月選択とする。また2年次には地域医療で在宅医療を中心に活動している近隣病院と診療所での研修を1ヶ月実施、救急診療科1ヶ月、精神科研修及び産婦人科研修も合計1ヶ月実施し、他の期間は選択とした。(4)研修システムの進化も重要と考え、相互評価を活発(部長、看護師長による研修医評価及び研修医による各科プログラムの評価)にし、研修内容の改善につながるよう研修医の要望の聴取と、研修の達成度の評価・管理を毎月実施、(5)臨床の場での研修だけではなく専門医による各科のトピックス講義として、内科系・外科系レクチャーを2週ごとに、救急診療に役立つ話題提供としてモーニングレクチャーを毎週実施。以上のような方針と内容で運営しており、今後もさらに内容の充実に努め、実力のある医師を育てていきたいと考えている。

研修スケジュール(年間)

市立岸和田市民病院臨床研修プログラム 研修スケジュール例 (平成22年度採用者用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(循環器・消化器・呼吸器・血液腫瘍・糖内分泌) 6ヶ月						外科系(外科・脳外) 2ヶ月		小児科または整形外科を選択 1ヶ月	救急診療科 2ヶ月		麻酔科 1ヶ月
2年次	救急診療科 1ヶ月	地域医療 1ヶ月 ※1	精神科 0.5ヶ月 及び産婦人科 0.5ヶ月 ※2	選択科目(上記の診療科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、皮膚科、形成外科、放射線科、病理診断科、小児科、産婦人科、精神科) 9ヶ月								

【備考】 ローテーションは順不同。可能な限り1科に1人となるよう配慮しています。

※1. 地域医療は、0.5ヶ月×2協力病院(診療所)または1ヶ月×1協力病院で研修をします。

※2. 精神科及び産婦人科は協力病院で研修をします。

大和高田市立病院（奈良県）

病床数

320床

病院の特徴

大和高田市立病院は、昭和28年に創設以来、半世紀以上にわたり、奈良県中和地域の中核病院としての機能を果たしてきました。現在は病院施設の整備を進めて、全17診療科、320床の総合病院として、患者さんとの触れあいを基本として、患者さんとともに進む医療、地域との融和を考えた医療を目指して活動しています。

本院の現況は、特に外科系の活躍がめざましく、2010年でみると、年間手術件数は2,400例以上あり、産科で取り扱う分娩も年間600件を超え、奈良県下有数の実績を誇っています。内科では、消化器内科の活動が積極的です。

また、本院では、クリティカルパス、感染対策、医療安全対策、褥瘡対策、栄養管理(NST)等に、病院全体が組織横断的に取り組み、医師や看護師等の職種の枠を越えた討論が盛んに行われています。

常勤医は主に京大からの派遣ですが、最近では大学自身の医師不足のため、近畿地方各大学からの医師の採用が増え、大学の垣根を越えたチームワークで各科が緊密な連絡を取りながら診療に当たっています。各科ともに、症例数は多く、プライマリーケアの修練には非常に適した病院といえます。

医師数

71名(内常勤医は42名 2011年1月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 0名(2010年実績)/たすきがけ 0名(2010年実績)

〃 2年次

単独型 1名(2010年実績)/たすきがけ 1名(2010年実績)

処遇

給与:月額報酬 1年目 350,000円

2年目 380,000円

手当:賃貸住宅入居の場合、最高27,000円支給

勤務時間:原則として、午前8時30分から午後5時15分まで

休日:土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日まで)

休暇:有給休暇(年20日)その他の休暇については別に定めるところによる

厚生福利:各種社会保険に加入(健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険等)

医師賠償責任保険:病院として加入。任意加入の場合、自己負担

健康管理:年1回健康診断実施、HBワクチン・インフルエンザワクチン接種等

研修活動:学会、研究会への参加を奨励、費用負担あり

研修プログラムの特徴

本院の研修の特徴として、最前線の病院として、common disease を数多く経験できること、選択科の選択が自由で幅があること、各診療科間の垣根が低く、顔の見える研修が行えることなどが挙げられます。

指導医から学生さんへのメッセージ

初期研修では、common disease を数多く経験することが最も重要と考えています。小人数で、アットホームな研修(勿論、厳しさもあります)をお望みでしたら、どうぞ、応募して下さい。初期研修の場としては、小回りの効く、本院規模の病院が最適と思います。

研修スケジュール(年間)

1) 初年度研修

初期研修	内科		外科	麻酔科・救急
	外科	麻酔科・救急	内科	

初期研修オリエンテーションは研修開始後1週間を充てる。

2) 2年度研修

産婦人科	小児科	精神科 地域	選択
小児科	産婦人科	精神科 地域	選択

初年度の後半に2年度の選択科について、意向調査する。選択科は1ヶ月単位で選択可能である。選択科の研修期間の上限は設けない。

研修医からのコメント



研修医はすべての病院職員(Dr.、コメディカル、事務の方々)に覚えてもらえ、常に気にかけてもらえます。各科のDr.も研修医とわかってくれるので、質問すれば何でも教えてもらえます。大学病院と違って専門的な症例は少なく、common disease が多いので勉強になると思います。

日本赤十字社和歌山医療センター (和歌山県)

病床数

865床

病院の特徴

造血器幹細胞移植、生体腎移植、角膜移植、体外受精、胚移植、顕微授精といった高度先進医療を実施しています。

また、日本赤十字社和歌山医療センターは、日本赤十字社本社より国際医療救援拠点病院の指定を受け、担当部署として国際医療救援部を設置し、国際医療救援活動の拠点となって活動しています。

医師数

190名

初期研修医定員 1年次

基幹型 12名(2010年定員)/たすきがけ 1名(2010年実績)

” 2年次

基幹型 12名(2010年定員)/たすきがけ 2名(2010年実績)

処遇

身分:研修医(常勤嘱託医)

給与:

1年次 320,000円(別途書籍代 年250,000円)

2年次 350,000円(別途書籍代 年250,000円)

宿舎:有り 16,000円/月(単身用)

その他:健康保険・厚生年金・厚生年金基金・雇用保険・労災保険 有り

研修プログラムの特徴

本センターは「地域の基幹病院」としての役割を担う865床の大規模病院ですが院内各部局の連携が緊密で症例数も豊富なことによりプライマリケアから高度医療まで幅広い経験を積むことができます。各部局における院内外の研修活動の充実の本センターが特に力を入れている点であり、医師臨床研修にもふさわしい環境です。また、赤十字の特色である国際医療救援活動における拠点病院のひとつに指定されており、さらに地域住民の健康保持のための「赤十字県民大学」や「巡回診療」等、他の臨床研修病院では得られない赤十字ならではの活動を経験することができます。

研修スケジュール(年間)

1年目	内科	6ヶ月
	救急	3ヶ月
	選択科	3ヶ月
2年目	小児科	1ヶ月
	産婦人科	1ヶ月
	精神科	0.5ヶ月
	地域医療	1ヶ月
	選択科	8.5ヶ月

※診療科(部)の研修順序は各研修医により異なる。



親切な先生が多く、たいへん有意義な研修をすることができる
ところ。適度に忙しく、様々な手技や救急の最前線を経
験することができました。長所は雑用が少ない(ほぼゼロ)、優
秀な看護師さんが良く働き助けてくれる、住居が用意されて
いる、職場がアットホームで個性的で熱心な先生が多く瞬発
力が身につくということです。

また、地域機関病院ですので、色々な症例が見られます。

公立豊岡病院組合立豊岡病院（兵庫県）

病床数

500床

病院の特徴

平成17年新病院が開院し、最新の医療機器や診療システムを備え、快適な療養環境が整備されている。兵庫県北部を中心に広い診療圏をもち、26診療科、医師数約100人を擁する地域の基幹病院であり、高度医療等の実績により救急患者・紹介患者も多く、示唆に富む症例を多く経験することができる。また、外来・入院患者ともに多く、救急医療、在宅医療、地域医療、チーム医療などを包括的に実践しており、研修医が初期研修するには格好の条件が揃っている。

医師の出身大学は京都大、神戸大、鳥取大、三重大、滋賀医大など約30校におよび、大学にとらわれない診療科間の円滑な協力体制や、自由な意見交換がてきる医局の雰囲気がある。

医師数

92名(2011年 1月 1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 7名(2010年実績)/たすきがけ 1名(2010年実績)

// 2年次

単独型 6名(2010年実績)/たすきがけ 1名(2010年実績)

処遇

1. 身分：地方公務員(常勤嘱託職員)
2. 給与：給与 1年次35万円、2年次37万円(副当直手当別途支給 1万5千円/1回)
3. 保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
4. 宿直(副直)：月3～4回
5. 時間外手当：時間外手当は給与に含まれる
6. 宿舎：医師宿舎(病院敷地内)個人負担額 8,100円
7. 休暇：1年次10日・2年次11日・夏期休暇4日
8. 勤務時間：08:30～17:15
9. 健康管理：年1回健康診断実施
10. 病院賠償責任保険：病院で加入
11. 外部の研修発表に関する事項：学会・研究会等参加時の交通費・宿泊費・参加費支給

研修プログラムの特徴

臨床現場での豊富な症例経験を通じ、医学部で修得した医学知識を更に高め、医療技術に習熟し、全人的ケア・包括的医療を実施するための基本的姿勢を培っていくことにより、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できる基本的な臨床能力を有すると同時に、医師としての使命感、倫理観及び深い人間性を身につけた医師を育成する。

指導医から学生さんへのメッセージ

初期研修の目標は研修医個々によりさまざまです。例えば①一般的・基本的な疾患を診られること、②専門に関わらず、緊急性の有無の判断や適切なコンサルトを行えること、③救急外来の当直医として一通りの対応ができることなどですが、2年間の研修で、これらはほぼ達成できます。

これには、次のような当院の特徴が挙げられます。①1次～3次の救急患者を受け入れており、当直も月4回、上級医とともに行える、②周辺に同規模病院はなく、地域の中核病院として、一般的な症例から珍しい症例までさまざまな症例がある、③500床の規模で、医師やスタッフとも密に連携がとれ、コンサルトもしやすいことなどです。そして、何よりも指導医に恵まれていること、患者さんが豊富なことによるところが大きいです。

大切な2年間ですので、何を目標にし、どのような病院を選ぶか充分検討してください。

研修スケジュール(年間)

【1年次】 基本研修・必修研修科目ローテーション

内科系	救急医療系 (麻酔2ヶ月、救命救急センター1ヵ月)	麻酔科 (必修)	選択必修 (外科、小児科、産婦人科、麻酔科から2科ないし1科)
(6ヶ月)	(3ヶ月)	(1ヵ月)	(2ヶ月) 2科ローテーションの場合はそれぞれ1ヶ月ずつ

【2年次】

精神系	地域医療	救命救急科	選択科目
(1ヶ月)	(1ヶ月)	(1ヶ月)	(9ヶ月)

1年次・2年次 共通研修コース

救急医療研修(救急外来副直)・CPC・学会、研究会など

赤穂市民病院（兵庫県）

病床数

380床

病院の特徴

赤穂市民病院は近畿の西南端、人口 5 万 3 千人の“忠臣蔵のふるさと”赤穂市に位置し、380 床を有する地域中核病院である。当院では「良い医療を、効率的に、地域住民と共に」という大きな目標を掲げ、開かれた病院づくりを目指しています。これは、中世ヨーロッパの教会や大学、戦後の集会所や公民館が担ってきたコミュニティセンターとしての役割を「病院こそ市民のコミュニティセンターたるべし」との考えに基づく取り組みである。また、院是を「恕(じょ:おもいやり、ホスピタリティ)」と定め、なるべく家庭に近い療養環境、癒しの環境づくりに努めています。

医師数

51名(2007年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 5 名(2007 年実績)/たすきがけ 2名(2007年実績)

// 2年次

単独型 4 名(2006 年実績)/たすきがけ 1名(2006年実績)

処遇

職名:嘱託員

勤務時間:原則として 8:20~17:05 時間外勤務 有

休日:原則として土・日曜日及び法令に規定された休日

休暇:1年(暦年)の間に 14 日

宿直:当直医と共に月に数回、副直を勤める。

給与:給料月額 276,000 円

このほか地域手当、時間外勤務手当、期末勤勉手当を支払う

みなし給与(家賃相当額)を含めて 1 年目 6,500 千円相当(年額換算)

2 年目 7,000 千円相当(年額換算)

宿直:研修医宿舎 有

個人負担:月額 4,000 円(※病院所有研修医宿舎を利用の場合)

保険等:社会保険、厚生年金、雇用保険

食事:職員食堂 有(有料)

研修プログラムの特徴

本プログラムは、地域中核病院である赤穂市民病院の特徴をいかして、プライマリケア、一次および二次救急に対応できる医師としての基本的診療の能力が身に付くよう企画されている。2年間で積み上げ方式とし、内科、外科、麻酔科、救急などの基本的診療科は2年間にわたり研修を行い、脳外科、整形外科など救急疾患の多い科は2年目に各1ヶ月間研修期間を設けています。

指導医から学生さんへのメッセージ

当院は病床数は380床と少ないですが、標榜診療科は20科あり、兵庫県西南部の西播磨地域のの中核病院としての機能を果たしています。症例もcommon diseaseからめずらしい症例まで幅広くあります。救急車も西は隣県の岡山県、東は姫路、北は佐用町までの広域から来るため、研修医にとって救急医療を数多く経験でき、自信をつけることが出来ているようです。中規模病院のよさで科の間の垣根はなく、どの科の研修中であれば他科の医師の指導も受けられるメリットもあります。また管理型としての研修医だけでなく京都大学と神戸大学からのたすきがけの研修医もあり、さらに学生実習も多く引き受けており活気ある研修医生活をおくる事が出来ます。有意義な研修生活をおくるため、とりわけ積極的に研修を行いたい方の応募を期待しております。

研修スケジュール(年間)

●研修スケジュール(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内						外				救急・麻酔	
2年次	内			小児	産婦人	精	地域医療	選択科目				

研修医からのコメント



いわゆる野戦病院でどんな症例が来るかわからないという点で大変勉強になりました。最初の一年は色々なことが新鮮で、興味を持って高い志で研修に望みやすい時期だと思うので頑張ってください。

松江市立病院（島根県）

病床数

470床

病院の特徴

当院は、平成17年8月に現在の新病院へ新築移転し、緩和ケア病棟、消化器病治療、救急医療、リハビリテーション機能、総合的診療の充実のため、「緩和ケア病棟」「救急・集中治療病棟」「亜急性期リハビリテーション病棟」を設置するとともに、消化器内科と消化器外科が一体となった「消化器病センター」を設置するなど、圏域の中核病院として診療機能の充実に努めています。

また、圏域の災害拠点病院でもある当院は、病院本体を免震構造とし、災害時医療の拠点としての機能も整備しており、万一大規模災害時などの医療センターとしての役割も担っています。

更に、電子カルテの導入により、院内の連携も円滑に行うことが出来るようになり、サービスが向上したのは勿論、より高度で安心の出来る医療を提供することが可能になりました。

当院は「愛情」「信頼」「奉仕」をモットーに、県都松江市の自治体病院として一層市民から愛され、信頼される病院を目指し職員一同努力しています。

医師数

83名(2008年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 2名(2007年実績)/たすきがけ 1名(2007年実績)

〃 2年次

単独型 3名(2007年実績)/たすきがけ 3名(2007年実績)

処遇

- ① 身分 : 研修医（臨時職員）
- ② 年次有給休暇 : 20日/年（採用月によって異なる）
その他 正規職員に準じる
- ③ 宿舎 : アパート等を借り上げ宿舎として提供
- ④ 社会保険 : 健康保険・厚生年金保険・労災保険・雇用保険
- ⑤ 基本賃金 : 1年次 230,700円 ・ 2年次 278,500円
- ⑥ 時間外手当 : 有
- ⑦ 宿日直手当 : 20,000円/回（月平均2～4回） ※研修医当直室有
- ⑧ 特殊勤務手当 : 呼出料 1,240円/回
- ⑨ 通勤手当 : 2km以上の場合、距離に応じ支給
- ⑩ 健康管理 : 健康診断2回/年、各種予防注射、抗体価検査

- ① 研修会への参加 : 国内出張 年度内2回まで当院負担
- ② 学会での発表 : 研修会への参加と別枠で可
- ③ 医師賠償責任保険 : 加入

研修プログラムの特徴

当院では、1年目に内科6ヶ月、外科3ヶ月、救急・麻酔3ヶ月、2年目に小児科・産婦人科を1ヶ月、精神科を2ヶ月、地域・保健医療を1ヶ月、選択科目を7ヶ月研修することとしています。

地域・保健医療においては、松江保健所・松江記念病院・開業医を1ヶ月で研修するパターンと、松江保健所・隠岐病院を1ヶ月で研修するパターンの2通りから選択することができます。内科においては内科(内分泌・代謝、血液・免疫)・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・神経内科の全ての内科をローテートし、外科においては消化器外科を中心として、経験が必要な病状・病態・疾患に応じて血管胸部内分泌外科・心臓血管外科・脳神経外科においても研修を行います。麻酔科においては緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切に対応する能力を習得するため必要な研修を行い、更に緩和ケア病棟での研修も行います。

また、指導医とともに宿日直を行う他、研修医で午後の救急対応のローテーションを組むなど、救急外来患者の初期治療を数多く経験します。更に CPA 搬送の連絡があった場合には呼び出しがあり CPR に参加することが出来ます。

このように、研修期間を通じて多様な病状・病態・疾患を経験することによってプライマリ・ケアを修得し、医師としての人格を涵養することを目的としています。

指導医から学生さんへのメッセージ

新松江市立病院は平成17年8月、田和山地区に総合福祉ゾーンの中心として新築移転し、現在3年目を迎えようとしています。最新の医療機器を大幅に整備し、救急集中治療病棟、緩和ケア病棟、消化器病センターの設置などを特徴とした医療環境のもと、「愛情、信頼、奉仕」をモットーに松江医療圏域の中核病院として、日夜、職員一同切磋琢磨しています。そして、日本医療機能評価機構認定(Ver.5)、同付加機能認定(緩和ケア)、がん診療連携拠点病院指定も受け、病院のレベルアップに努力しています。

新臨床研修制度も5年目となり、指導医については現在30名が臨床研修指導医講習会を修了し、熱心に研修医の指導に取り組んでいます。研修プログラムも研修医の提案を積極的に取り入れ、年々、進化しています。特に、CPA患者の呼出体制、午後救急当番体制を構築し、救急診療に対する研修の充実を図っています。

現在、研修医は1年目2名(管理型)、2年目5名(単独型2名、協力型3名)計7名が在籍しており、病院環境や電子カルテにも慣れ、各科の指導医のもと、楽しそうに充実した日々を送っています。このような最新の医療環境と熱心な指導医のもとで、医師の第一歩を踏み出してみませんか。松江市立病院は皆さんの若いエネルギーを求めています。

研修スケジュール(年間)

1年次	内科(6月)			外科(3月)	救急・麻酔(3月)
2年次	小児科 (1月)	産婦人科 (1月)	精神科(2月)	地域※ (1月)	選択科目(7月)

※地域・・・松江保健所・松江記念病院・市内の開業医・隠岐病院の中から選択

高松赤十字病院（香川県）

病床数

589床

病院の特徴

- ・ 地域の医療機関との連携を推進し、地域医療における中核病院としての役割を果たすことを目指しています。
- ・ 救急医療の充実に努め、24時間対応できる体制をとっています。
- ・ 急性期病院加算、ICU4床、NICU3床の施設基準を取得しています。
- ・ 産科として伝統があり、年間千件を超える分娩数があります。
- ・ 赤十字病院として、災禍に苦しむ人々への救護と救援体制を整備しています。

医師数

123名(2010年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

基幹型 5名(2010年度)/協力型 2名(2010年度)

〃 2年次

基幹型 5名(2010年度)/協力型 4名(2010年度)

処遇

基本手当/月 300,000円 賞与/年 438,000円

宿日直:月3回程度(手当1年次 5,000円、2年次 10,000円)

勤務時間 8:40~17:20 休日:土日・祝日、年末年始、5月1日、年次有給休暇有り

保険:全国協会けんぽ保険、労働災害補償保険、厚生年金、医師賠償責任保険

研修プログラムの特徴

- ・ 精神科は、高松市民病院又、五色台病院での研修となります。
- ・ 地域保健・医療は、香川県赤十字血液センター、高松市保健所、小豆島の内海病院、香南苑(老健施設)での研修となります。
- ・ 1年次の研修開始時にはオリエンテーションを実施します。
- ・ 毎週月曜日と木曜日の朝に、各診療科の医師の持ち回りによる研修医向けモーニングセミナーを開催しています。
- ・ 選択科として、1年目にローテートした内科、外科救急を再度選択することも可能です。
- ・ 地域保健・医療では、血液事業、保健所の業務、離島診療、老健施設を研修します。
- ・ EPOC(オンライン卒後研修評価プログラム)により研修の評価を行いません。

指導医から学生さんへのメッセージ

大学病院とは異なり、いわゆる common disease とか救急疾患を多く経験できます。
やる気のある方なら誰でも大歓迎です。

研修スケジュール(年間)

平成23年度高松赤十字病院プログラム

1年次

内科	救急	選択必修科目	
6ヶ月	3ヶ月	※	精神科
		2ヶ月	1ヶ月

2年次

選択科目	地域医療	地域保健
10ヶ月+1週間	1ヶ月	3週間

- ・ ※…選択必修科目は外科、麻酔科、小児科、産婦人科より選択して研修をおこないます。
- ・ 精神科は、高松市民病院又、五色台病院での研修となります。
- ・ 地域医療の研修は内海病院、地域保健の研修は、香川県赤十字血液センター、高松市保健所、香南苑（老健施設）での研修となります。
- ・ 1年次の研修開始時にはオリエンテーションを実施します。
- ・ 毎週月曜日と木曜日の朝に、各診療科の医師の持ち回りによる研修医向けモーニングセミナー（軽食付）を開催しています。
- ・ 選択科は内科（循環器科、呼吸器科、消化器科、神経内科を含む）、小児科、外科（呼吸器外科、小児外科含む）、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急、からの選択となります。
- ・ 地域医療では、離島診療、地域保健では、血液事業、保健所の業務、老健施設を研修します。
- ・ EPOC（オンライン卒後臨床研修評価システム）により研修の評価を行います。

研修医からのコメント



高松赤十字病院で1年間研修しました。
人数が少ない分、手技もたくさんやらせてもらえるし、
大きな病院ですので、割とまれな症例にも出会えます
ので、頑張ってください。
上級医の方々がとても熱心で、勉強できる環境も整っ
ています。

—京都大学医学部附属病院（京大病院）ご案内—



京阪電車 神宮丸太駅 5番出口より東へ徒歩10分（700メートル）
京都市バス 京都駅にて206系統（D2乗り場）乗車，熊野神社前バス停下車，
北へ徒歩5分



京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54
Tel 075-751-4839, Fax 075-751-3091
Mail: sotsugo-kyt@umin.ac.jp

詳しい情報はホームページから



<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~education/pdf/kyoryoku%20byouin%20ichiran.pdf>